

日本安全保障戦略研究所 (SSRI) 第 17 回公開安全保障セミナー

テーマ : 「ウクライナ侵攻」分析 ー第二弾ー

コロナ禍も落ち着きつつあり、日常が戻ってきました。引き続き感染対策には配慮をしつつ、以下のように第 17 回公開安全保障セミナーを行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

1 セミナーの内容

2022年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻して以来、本セミナー開催時点では2年間の経過します。当研究所としては、2022年9月の公開セミナーでの「ウクライナ侵攻分析」に続き、その後の研究成果を加味して、参加者とともに再度「ウクライナ侵攻」について考えてみたいと思います。

特に、米国をはじめとするNATO主要国は、侵攻前から継続的かつ段階的にウクライナに対して武器等の軍事支援を行ってきました。日本も、殺傷兵器を除く人道的な装備品をはじめとして各種支援を行ってきました。ウクライナ単独では奪還作戦までは到底出来なかったところ、こうした支援をもってウクライナは昨年6月から反撃作戦を行い、戦争終結に向かい決死の努力を継続しています。

今般のセミナーでは、これまでのNATO諸国の軍事支援はどのように行われてきたのか、そして欧州全域をも視野に入れた今後のウクライナを巡る安全保障環境はどうかについて分析するとともに、今後の東アジア地域の安全保障にとっても有益な教訓についても考えてみたいと思います。

当日は、以下のパネリストの発表とそれに続く参加者からの質問に対する回答を行います。

《パネリスト及び発表内容》

パネリスト		発表内容
小野田治	SSRI 上席研究員 (元航空教育集団司令官)	航空作戦と戦闘機等の軍事支援
菅野 隆	SSRI 席研究員 (元陸自教育訓練研究本部研究員)	NATO 諸国による地上兵器、弾薬等供給支援
小川清史	SSRI 上席研究員 (元西部方面総監)	ファシリテーター

2 日時 : 3月15(金) 14:00~17:00 (開場 : 13:30)

3 場所 : [ホテルグランドヒル市ヶ谷](#)「珊瑚」(3階)

4 参加費 : 一般 : ¥2,000 会員 : ¥1,000

5 参加申し込み要領等 :

- ・申し込み : e-mail
- ・宛 先 : rei04at184@ssri-j.com
- ・記入要領 : 住所、氏名、e-mail アドレス、(勤務先及び役職)
- ・受講定員 : 先着 50 名様 (定員到達次第、申し込みを締め切らせていただきます。)
- ・感染予防 : 当日に発熱など体調に異変を感じた方は入場をご遠慮願います。
- ・その他 : 受付付近にて著作本の販売を致します。